



ローカル企業の SDGs の取り組み

『HOPE × Wool Fabric Project』

スーツ 1 着を作るためにどれだけの量の水が使われているか知っていますか？

工業用水も含めると、約 850 リットルもの水が使われています。毛織物には豊かな水質と水源が不可欠です。優れた水なしに、染色、煮絨、蒸絨などの工程は出来ません。

アパレル産業では、製造過程で水を大量に使用していることから、SDGs 達成のために「社会貢献活動を通じた持続可能な事業」を検討している企業が増えています。

創業から 80 年、天然素材であるウールにこだわり続けて商品を提供してきた西川毛織株式会社（本社：名古屋市）は、2018 年 10 月に認定 NPO 法人ホープ・インターナショナル開発機構と協働し、『HOPE × Wool Fabric Project』を立ち上げました。

「中小企業にも NGO と協働することで SDGs の取り組みはできる」と話すお二人をお招きし、チャレンジにける想いを伺います。この機会を逃さず、ぜひご参加下さい。



ゲスト
ところ ゆうすけ
所 祐介氏
西川毛織株式会社
生産部海外生産課
仕入担当



ゲスト
まつうら らみのり
松浦 史典氏
認定 NPO 法人ホープ・
インターナショナル開発機構
開発オフィサー

※『HOPE × Wool Fabric Project』とは？…特定のウール生地を購入すると、その購入金額の一部がカンボジアでの水供給事業に寄付される仕組み。
詳細はこちら⇒<http://www.nishikawa-keori.co.jp/csr/index.html>



日時：2019. 3/6 (水)
19:00~20:45

※名古屋 NGO センター発行の企業と NGO 連携冊子『はじめよう、連携～SDGs から見たパートナー選び～』を、参加者の皆様にプレゼントします。お楽しみに。

- 会 場：YWCA ビル 2F (201・202)
名古屋市中区新栄町 2 丁目 3
地下鉄「栄」駅 5 番出口より徒歩 2 分
- 参加費：1,000円 (学生 & 賛助会員 B は 500円引)
- 定 員：20名 (先着順/要事前申込)
- 対 象：企業の社会貢献担当者、NGO 関係者、学生など、本テーマに関心のある方
- 申込方法：名古屋 NGO センター web サイト
(<http://www.nangoc.org/>) よりお申込下さい。



主催 & 申込み 認定 NPO 法人 名古屋 NGO センター

〒460-0004 名古屋市中区新栄町 2-3 YWCA ビル 7F TEL & FAX : 052-228-8109
E-Mail : info@nangoc.org (開所時間：火～土 13:00~17:00)

この事業は(一財)日本国際協力システムより助成を受けて実施します。